

睡眠時無呼吸症候群

Sleep Apnea Syndrome : SAS

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは、文字通り睡眠中に呼吸が止まり、それによって日常生活に様々な障害を引き起こす疾患です。SASの重症度は、AHI（無呼吸低呼吸指数）で表し、一晩の睡眠を通して、1時間あたりの無呼吸や、低呼吸（呼吸が浅くなる状態）の頻度をもとに診断していきます。このAHIが5～15回が軽症、15～30回が中等症、30回以上が重症とされています。

健診で、SAS簡易検査をおこなっています。

簡易検査とは

呼吸の状態や血液中の酸素の状態などを測定し、睡眠呼吸障害の程度（AHI）を求めることができます。AHIが40以上で眠気などSASの症状が明らかな場合、治療の対象となります。この検査は、ご自宅で機器を装着して、翌日当院に機器を返却していただく検査です。

こんな症状ありませんか？

- ・ いびきをかく
- ・ 寝汗をかき、寝相が悪い
- ・ 何度もトイレに起きる
- ・ 倦怠感や頭が重い
- ・ 日中の眠気

一度、ご相談下さい。